履修期間	原則として連続した2年以内
出願資格	女性で大学院入学の資格を有する方 （本学学則に規定する本学大学院への入学資格を有する方）
定員	15名
選考方法	書類選考
出願期間	2024年度 春季募集 1月5日㊎ ▶ 1月26日㊎ 必着 2024年度 秋季募集 6月3日㊊ ▶ 6月28日㊎ 必着
出願書類	1 履修願 本学所定様式 2 履歴書 様式任意、写真添付のこと 3 最終学校の卒業（修了）証明書または卒業（修了）見込証明書 4 最終学校の成績証明書 5 健康診断書 6 写真 縦4cm× 横3cm、出願前3か月以内撮影のもの
受講料等	検定料 10,000円 登録料 10,000円 1プログラム受講料 130,000円 合計 150,000円 ※1年以内に複数のプログラムを申し込む場合、再度の検定料及び登録料は徴収しない。 ※1プログラムを2年に渡って履修した場合でも追加料金は徴収しない。 ※上記受講料のほか、教科書代金等は実費負担となる。 ※既納の受講料等については一切返還しない。
修了要件	規定の必修科目の単位を修得すること。 〔必修科目　3科目6単位（67.5時間）〕 ※修了者には学校教育法第105条の規定に基づき履修証明書を交付する。
単位の授与の有無	● 椙山女学園大学試験及び成績評価に関する規準（平成16年大規準第21号）に基づき成績評価し、合格した者に、科目等履修生として単位を付与する（正課外のワークショップは単位付与されない）。 ● 本履修証明プログラムの各コースを修了した者が、その後、椙山女学園大学大学院現代マネジメント研究科に入学する場合には、本プログラムにより履修した単位を研究科修了のための単位として認定することができる。

椙山女学園大学 学務部教務課

住所 〒464-8662 名古屋市千種区星が丘元町17-3
TEL 052-781-6466
E-mail kyoumu@ml.sugiyama-u.ac.jp
アクセス 地下鉄東山線「星ヶ丘」駅下車、6番出口より徒歩5分
実施責任者：現代マネジメント研究科長

Sugiyama

働く女性たちへ

働く女性のための
キャリアアップコース

2024年度
椙山女学園大学大学院

履修証明プログラム

開講研究科：現代マネジメント研究科

働く女性のキャリアアップに必要な知識全般の修得を目指す

働く女性のためのキャリアアップコース

現在、企業や地域のさまざまな組織において、女性の能力の活用が求められています。
現代マネジメント研究科では、管理職を目指す女性社員や、
すでに管理職となり組織の管理運営能力を一層高めたいと思っている女性社員などを対象に、
経営の専門知識の修得とコミュニティづくりの機会を提供するため、
経営管理や経営戦略、マーケティング、管理会計やファイナンス、イノベーションなどに関する科目をコンパクトに、
そして効果的に履修するプログラム「働く女性のためのキャリアアップコース」を開設しています。

働く女性のためのキャリアアップコース

・ビジネス・マネジメント　（前期開講）
・コーポレート・ストラテジー　（後期開講）

必修科目
3科目 67.5 時間
2/3はオンライン授業

＋

トータルライフデザイン・ワークショップ
5 回程度開催
対面開催

2つのコースを履修することにより、働く女性のキャリアアップに必要な知識全般の修得を目指しますが、個別のニーズや状況に応じ、一方だけのコースを受講することもできます。また、それぞれのコースでは、科目の履修以外に、半期に5回程度のワークショップを実施し、ファシリテーターの下で、受講者同士の情報交換を行い、実習フィールドワーク等を通じて、将来のネットワークづくりに繋げることを意図しています。

授業時間	
1限	9:10～10:40
2限	10:50～12:20
3限	13:20～14:50
6限	18:30～20:00

前期開講　働く女性のためのキャリアアップコース ビジネス・マネジメント

事業に関する基礎的な内容を学ぶ

前期授業期間開始日　2024年4月5日㊎

必修科目	時間	単位	開講曜日時限
経営管理特論	22.5時間	2単位	土曜1・2限［隔週で交互に開講］
マーケティング特論	22.5時間	2単位	
管理会計特論	22.5時間	2単位	水曜6限
トータルライフデザイン・ワークショップA			土曜3限（5回程度実施）

後期開講　働く女性のためのキャリアアップコース コーポレート・ストラテジー

企業の全社的戦略に関する発展的な内容を学ぶ

後期授業期間開始日　2024年9月21日㊏

必修科目	時間	単位	開講曜日時限
経営戦略特論	22.5時間	2単位	土曜1・2限［隔週で交互に開講］
イノベーションマネジメント特論（経営）	22.5時間	2単位	
ファイナンス特論	22.5時間	2単位	水曜6限
トータルライフデザイン・ワークショップB			土曜3限（5回程度実施）

2023年度 参加者の勤務先（五十音順）

●清水建設(株)　●(株)ショクブン　●天狗缶詰(株)　●豊田合成(株)　●西日本電信電話(株)　●(株)日建設計
●東山遊園(株)　●三井化学(株)　●(株)三菱UFJ銀行　●三菱UFJモルガン・スタンレー証券(株)　●(株)ロフトワーク

講義概要

砂口 文兵

経営管理特論　▶前期土曜日1・2限（隔週）

企業において、重要となるものの一つが「マネジメント」の知識やスキルです。本講義では、そうした知識やスキルの獲得について、モチベーションやリーダーシップといった人々のチカラを引き出すという側面に焦点を当て、経営管理の内容のうち、特に「人」にかかわる内容を中心に学習します。

主な講義テーマ
① マネジメントの重要性と視点
② モチベーション
③ グループ / チームの効果的運営
④ リーダーシップ
⑤ 仕事づくりと人の育成
⑥ 女性の活躍推進：ダイバーシティ・マネジメント
⑦ キャリアのデザイン
⑧ 実践に活かすマネジメント理論

南 知恵子

マーケティング特論　▶前期土曜日1・2限（隔週）

マーケティングは、現代のビジネスにおいて理解しておくべき重要な考え方や活動になっています。本講義では、マーケティングの基本的な考え方を解説するとともに、顧客市場の分析の仕方や、顧客との関係をいかに管理し、顧客満足度を高めるかを講義します。

主な講義テーマ
① マーケティングの基本的な考え方
② 市場細分化とターゲティング
③ マーケティング・ミックスと戦略
④ 顧客満足
⑤ サービス・マーケティング
⑥ デジタル・マーケティング
⑦ BtoB マーケティング

楫山 泰生

経営戦略特論　▶後期土曜日1・2限（隔週）

マネージャーの中長期的な選択と、企業や事業の業績とのあいだにある関係を整理したものが経営戦略論です。事業分野や製品・サービスの組み合わせなどの様々な選択に直面したとき、マネージャーとしてどう判断すれば良いのか？ こうした判断に用いる基本的なロジックや枠組みを理解することが、戦略論を学ぶ目的です。

主な講義テーマ
① 業界構造の分析
② 経営資源の分析
③ コスト・リーダーシップ
④ 製品差別化
⑤ 競争と協調
⑥ 垂直統合の戦略
⑦ 多角化戦略
⑧ M&A戦略

佐々木 圭吾

イノベーションマネジメント特論（経営）　▶後期土曜日1・2限（隔週）

ビジネスの世界に限らず、日常生活においても耳にする機会の多くなったイノベーション。「でも、イノベーションって何なの？」といった基本的な疑問から、「会社の中でどう進めればいいの？」といった実践的な悩みまで取り上げて、事例討議を中心にイノベーションとそのマネジメントについての理解を深めていきます。

主な講義テーマ
① イノベーションって？
② イノベーションの源泉
③ イノベーションのステップと難所
④ イノベーションのための技術の育て方
⑤ イノベーションを生む事業戦略
⑥ ビジネスモデルのイノベーション
⑦ 組織を変革する
⑧ イノベーション時代の企業経営

瀧澤 創

管理会計特論　▶前期水曜日6限

よく耳にする会計用語や関連する数字の意味について、機会があれば基礎から学びたいと考えていた方も多いことでしょう。部署・グループを束ねる管理職ともなると管理会計の理解は一層重要です。本科目では管理会計での原価計算や原価分析の考え方、予算管理や業績管理に基づく組織の意思決定に関して理解を深めます。

主な講義テーマ
① なぜ会計を使うのか？
② 費用と利益を計算する
③ 生産や販売のコストを正確に知る
④ 原価から経営の実態を明らかにする
⑤ 予算を管理する
⑥ 投資や部門別の業績を管理する
⑦ 資本コストを知る
⑧ マネジメント・コントロール・システム

ファイナンス特論　▶後期水曜日6限

ファイナンスは身近に感じられず、敬遠してきた方もいるかもしれませんが、キャリアを積み重ねると、さらにモチベーションを高めるのに役立つ知識になります。本講義では初めてファイナンスを学ぶ方にもわかりやすく基本的な知識を解説し、一緒に例題を解きながら、学習した知識が皆さんの仕事に役立つよう考えていきます。

主な講義テーマ
① なぜファイナンスを使うのか？
② リスクとリターン
③ 債券の基礎
④ 株式の基礎
⑤ ポートフォリオ理論
⑥ 資本コスト
⑦ 財務分析
⑧ コーポレートガバナンスとファイナンス

Workshop

プログラムでは、正規の講義に加えて、参加者の皆さまに自分らしく働き、生きるためのワークショップを設けます。履修時間には換算しませんが、参加を推奨している企画です。開催は月に一度程度、対面形式で実施しています。基本的な進め方は、企業や社会で活躍されている女性リーダーの方にご講演いただいた上で、グループやクラスでのディスカッションを行います。予定しているテーマは、女性管理職としてのキャリア形成とワークライフバランス、女性が働きやすい組織を作るには？心理的安全性を高めるチームマネジメントとは、などです。